

# 全国(水戸) 体育・保健体育ネットワーク研究会

## 〈納豆ラウンド〉 子供の体力向上指導者養成研修をシェアする

平成 28 年度 5 月 20 日(金) 16:30~18:00 茨城県庁 1102 会議室

子供の体力向上指導者養成研修東部ブロックは、水戸市で行われました。研修終了後、講師の先生方や受講者の方々を中心に「納豆ラウンド」を開催することができました。当日は、岩手県・福島県や大阪府、茨城県の先生方と茨城大学の学生も交えて研修の報告を聞きながら熱く議論を重ねていただきました。

### 1 はじめに 座長:佐藤 豊教授(桐蔭横浜大学)

九州体育・保健体育ネットワーク研究会、その他の地域の研究会の活動及びその趣旨、研究会の HP や今後のスケジュール等を紹介いただきました。過去の実施内容と報告書も HP に掲載してあります。会員登録されたい方は、最寄りの研究会事務局までご連絡ください。



### 2 平成 28 年度子供の体力向上指導者養成研修(東部ブロック) 報告

#### ○児童生徒の動きづくりをとおして体力の向上を図るコース

##### 鈴木雅孝指導主事(岩手県教育委員会事務局)

鈴木先生には、Mets などを利用して日常の運動を計画する授業づくりなどをお話していただきました。指導評価の一体化を図ることが課題にあり、事前課題の充実が講習の充実にもつながっていることや新しいトレーニング方法の伝達ではなく、卒業後の健康づくりに関連させ、厚労省のプログラムへの接続の重要性にも触れていただきました。



#### ○幼児期からの運動遊びをとおした基礎的な動きづくりを図るコース

参加者の先生から、幼児期運動指針においては、遊びの中で動きを覚えることを大切に幼少期には徹底的、継続的に群れさせていくことの重要性やよい動きは特定の時期に教える必要があることなどが報告されました。一方で幼児部会においては、研修会のターゲットをどこにおくかについて課題が投げかけられました。

### 3 全体協議

報告後の全体協議では、学生も交えて体育科教育のトピックについて意見交換を重ねました。最後は高橋先生からまとめとして、年間計画の在り方や 2 年間の弾力化、運動部活動の意義、そして体育は将来のスポーツのステータスにつながっており、体育の必要性を将来に感じてもらえるように我々一同がんばる必要があることを確認して終わりました。



ネットワークを大切に、日々の授業を充実させるための授業づくり・教材開発につながる情報交換を続けていければと願っております。お忙しいところお集まりいただきありがとうございました。